

## 2024 年度 2 章 セルフ学習問題

解答用紙に、(Q\*) への妥当な解答を記入してください。複数の正答の可能性もあります。その場合は正答表に〇〇/◎◎などと併記してあります。同義であれば正答とします。

解答用紙は担当者に提出してください。第 2 章の講義の出席と成績になります。

他人の解答を写してもばれませんが、あなたの学習にはなりません。

締め切りは 6 月 2 日です。

- 1 インスリンの作用不足により、肝臓からのブドウ糖流出増加、(Q1)組織と骨格筋へのブドウ糖取り込み減弱がおこる。
- 2 2 型糖尿病の発症機序として、後天的な要因では、肥満・過食、運動不足、加齢のほか、(Q2)がある。
- 3 糖尿病の成因による分類は、1 型、2 型、(Q3)、その他 に分類する。
- 4 2 型糖尿病発症の初期では、まず、インスリンの(Q4)分泌が低下する。
- 5 糖尿病の前駆状態で膵  $\beta$  細胞機能が保たれている時期には、インスリン抵抗性のため、インスリン分泌は(Q5)する。
- 6 グルカゴン<sup>1</sup>は血糖を(Q6)させる作用がある。
- 7 2 型糖尿病において、発症初期にインスリンの(Q7)分泌が遅延・低下するため、食後過血糖が生じる。
- 8 一つの生物種における全遺伝子配列のことを(Q8)という。
- 9 遺伝子配列とは独立した、遺伝子が存在する染色体の構造や修飾が関与して遺伝発現を制御する(Q9)制御も重要である。
- 10 慢性の高血糖は膵  $\beta$  細胞に対して毒性の作用を有し、これを(Q10)とよぶ。
- 11 2 型糖尿病の危険因子としては、BMI よりも(Q11)肥満のほうが関連が大きいといわれている。
- 12 糖尿病の発症進展と、脂肪摂取量とは関連が(Q12)といわれている。
- 13 (Q13)性蛋白質の摂取量増加は糖尿病の発症リスクになるといわれている。
- 14 (Q14)酸素運動能力は糖尿病発症リスクを減少させるといわれている。
- 15 適度なコーヒーの摂取は糖尿病発症を(Q15)する。

- 16 合併する脂質異常症の主要な発症原因は(Q16)である。
- 17 (Q17)出生体重児は糖尿病発症のリスクが高いといわれている。
- 18 うつ病患者の糖尿病発症率は、一般人口からの糖尿病発症率よりも(Q18)い。
- 19 全身からコレステロールを回収して肝臓に戻す役を担っているのは、(Q19)DL と呼ばれるリポ蛋白である。
- 20 (Q20)歳代男性では、糖尿病の治療を受けている割合が他の年代よりも低い。